

第21回 川口カップ 女子決勝 川口 じりん VS 吉川ミニバス

女子決勝は、県大会で共にブロック優勝を果たし関東大会出場を決めている県内トップレベル、川口カップ過去最多6回優勝の川口じりん対、初出場ながら優勝候補筆頭の吉川ミニバスの組合せとなった。

第1Q

両チーム共ファーストシュートが決まらず重い立ち上がりであったが、吉川がリバウンドに強さを見せゴール下を支配、確実にシュートが決まりだす じりんは外角シュートで応戦するも確率は上がらず、吉川ペースで試合が進む。 じりん 4-15 吉川 で1Q終了。

第2Q

吉川が素晴らしいディフェンスでゴール下を死守、じりんの センター#4を抑えこむ。追い上げたいじりん、開始47秒で早くもタイムアウト。これが功を奏したか差が詰まり始め、残り2分12秒、一本のスティールから一気に流れがじりに。#6のバスカン、#10#7の連続得点で追いつき、#6のミドルがネットを揺らし逆転に成功! じりん 19-17 吉川 で前半終了。

第3Q

お互い激しいディフェンスからの点の取り合いとなり、一進一退の攻防が続く。 じりんは内、外、ドライブと多彩な攻めを魅せ、吉川は華麗なパスワークから#4#7#12とまんべんなくシュートを決めていく。一時リードを広げられた吉川だが#4のドライブ、#12のバスカンで同点とすると残り1分4秒#6のバスカンで試合をひっくり返す! 追加点も奪い、じりん 29-33 吉川 4点のリードでいよいよ最終Qへ。

第4Q

じりん、連続得点で同点にするもすかさず吉川#4が入れ返す。両チームディフェンスが良く機能してお互いに得点は伸びない。残り1分37秒、吉川4点リードのままじりんがタイムアウトを取る。果敢にスティールを狙いルーズボール争いも激しくなる中、1分を切るころには じりんが2点差に詰め寄る。追加点を奪えない吉川だが、そのディフェンスはまだ健在、このまま逃げ切るか?と思われた残り4秒、じりん#6ターンオーバーからそのままシュートに持ち込む・・・だがボールはリングにはじかれてしまう! しかし、リバウンドボールをしっかり掴み取ったのはじりん#5。確実にショットを決めて、ついに 37-37 土壇場で試合を振出しに戻す。

決勝戦は、延長戦にもつれ込む事となった。

2分間のインターバル。同時刻に隣のコートで行われていた男子決勝戦が一足先に終わり、昨年の覇者FFファイアーズに競り勝ち、初優勝を決めたじりん男子チームがコートサイドに陣取り声援を贈る。男女アベック優勝をじりんが成し遂げるか？吉川が実力を発揮し初優勝に向けて突っ走るか？会場中の視線が集まり、両チーム応援団の大歓声と共に延長戦が始まった。

延長戦

開始1分、じりん#4 フリースローを得るも一投目を外す。二本目はきれいに決めるが、吉川もすかさず#7 がキッチリ入れ返す。じりんのプレスディフェンスを見事なパスワークでかわし、確実にボールをリングに運び入れる吉川。じりんのシュートはリングにきらわれ、3点差で試合は進む。じりん、タイムアウト請求するもファールの笛でタイマーが止まった時、表示は残り17.5秒、じりん 40-45 吉川 点差は5点に開いていた。最後まで諦めずに攻めるじりん。#4 がシュートをねじ込むも残り数秒を吉川がキープしたところでタイムアップ。

じりん 42-45 吉川 吉川ミニバスが初出場、初優勝の栄冠に輝いた。

両チーム共、ディフェンスの足が良く動き、ハンドリング、シュート力にも高い技術を持ち合わせた素晴らしいチームであった。勝敗はついたが、決勝戦の舞台で好ゲームを披露してくれた両チームに暖かい拍手が贈られ、第21回川口カップは幕を閉じた。

